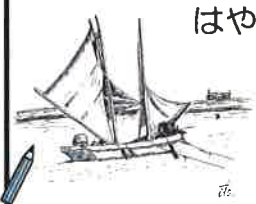


はやね はやおき 朝ごはん テレビをとめて外遊び 平成28年度
 別海町立野付小学校
 学校だより No7
 平成28年8月31日
 発行責任者
 校長 山本 尋子



三角帆

<みんなのめあて>～ がんばる・考える・思いやる～

 **限りある時間を大切に** 

8月17日激しく雨が降りしきる中、2学期がスタートしました。外は雨でしたが、しばらくぶりに友だちに会った子ども達は元気いっぱいでした。始業式では夏休みの思い出や2学期に頑張ることをそれぞれの学級の代表がしっかりと発表し、2学期への子どもたちの期待と意欲を感じました。

さて、2学期の始業式では、時間を大切にして欲しいと話しました。最近、朝会や終業式始業式が始まる時刻には全員が集まり、スムーズに集会を始めることができるようになりました。これは子ども達の生活で良くなってきたところの一つです。これを、授業の始まりや縦割り班の活動の時にも生かしていきましょうと話しました。一人ひとりが時間を意識して行動することで、授業が、朝会が、いろいろな活動がスムーズに始まります。みんなが時間を大切に使うことで気持ちのいい活動につながっていきます。それを実感として感じ、時間の上手な使い方を身につけて欲しいと思います。

それに合わせて、子ども達自身の時間の使い方を考えてみる取り組みもありました。生活リズム表です。高学年は自分で、低学年はおうちの人と一緒に記入することで、子供達は自分がどのような一日を過ごしたか振り返ることができます。振り返ることによって、自分の時間の使い方の問題があると、それに気づくことができます。気づいたときにそれを良くしていこうという気持ちが一番大切なのだと思います。



家庭学習の時間が少ないな・・・、寝る時間が遅かったね・・・、ちょっとゲームのやりすぎかな？など、気がつくことはきっといろいろあると思います。気づいたときどうするのか？まだまだ子ども達には、大人の助けが必要です。

今、子ども達は学校という集団の中で、みんなで時間を共有し、時間を大切にする事を学んでいます。是非ご家庭でも、子ども達の時間の使い方目配り、気配り、ちょっとしたアドバイスをよろしくをお願いします。

校長 山本 尋子

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について

以前よりお伝えしておりました文部科学省が進めているコミュニティ・スクール制度を、別海町でも平成31年までに全町的に導入する計画が進められています。

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ、三者が協働しながら地域の子どもたちの成長を支え【地域とともにある学校づくり】を進める仕組みです。

- 学校運営協議会の主な役割・校長の作成する学校運営の基本方針を承認する
- ・学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べる
- ・教職員の任用に関して教育委員会に意見が述べられる

別海町では、地域を愛し、地域を支える人間の育成のため、幼・小・中、家庭、地域が一緒になって子どもたちの教育に取り組む地域協働型のコミュニティ・スクールを目指しています。